

# ●指導のポイント

本校は、平成29年度と平成30年度の2年間、広島県教育委員会から「『道徳教育改善・充実』総合対策事業」の指定を受けた。そこで、研究主題を「自己肯定感・自己有用感を高める道徳教育の在り方～宮原らしいカリキュラムの実現と対話的な学びを通して～」とし、「生徒が主体的に対話し、思考を深める授業づくりに取り組めば、自己肯定感や自己有用感が高まり、生徒の道徳性の涵養を図ることができるであろう。」という仮説のもと、本校を含む中学校区の小中学校3校で、呉市の日本遺産を題材とした「総合単元的な道徳学習プログラム」を作成した。「本校のスクールアイデンティティー（歴史的・地理的・人的環境等）」を生かし、総合的な学習の時間、各教科、特別活動等との関連を図った宮原らしい総合単元的な道徳学習プログラムを基に実践している。

研究構想図

